

静岡県

# 土地改良



写真：第4回静岡県農村の魅力フォトコンテスト入選作品（富士市大淵笹場）

- 令和元年度 春の叙勲受章者紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 農業農村整備の集い ― 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて ― ・・・ 1
- 「土地改良は未来への礎」を活動の理念に・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 郷土史サロン・磐南文化講座「寺谷用水 430年の功績」・・・・・・ 4
- 平成31年度 新人、若手職員研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 令和元年度 第1回 土地改良区事務責任者会議・・・・・・・・・・・・ 4
- 令和元年度 第1回 監事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 令和元年度 第1回 理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2019 作品募集・・・・・・ 6
- 第5回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト 作品募集・・・・・・ 6
- 静岡県の歴史的な土地改良施設「地名用水」・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ふじのくに美しく品格のある邑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 行事予定（8月～10月）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9



豊かな農村空間を創造する

みどり  
水土里 ネット 静岡

静岡県土地改良事業団体連合会

## 令和元年度 春の叙勲受章者紹介



きょくじつそうこうしょう  
旭日双光章



ずいほうそうこうしょう  
瑞宝双光章



かわしま なおあき  
河島 直明 氏

元 磐田市議会議員  
現 磐田原土地改良区理事長



せがわ よしたか  
瀬川 芳孝 氏

元 中郷南保育園園長  
前 中郷用水土地改良区理事長

令和元年5月21日(火)、地方自治や社会福祉などへの功績を称える、令和元年度春の叙勲が発令されました。春の叙勲・褒章は例年4月29日に発令されますが、今年は新天皇即位に伴い、日程が変更されました。

本県土地改良関係者からは、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方に授与される旭日章に、磐田原土地改良区理事長の河島直明氏。そして、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方に授与される瑞宝章に、前中郷用水土地改良区理事長の瀬川芳孝氏が、受章の栄に浴されました。

ここに改めて、両氏の受章に対しお祝いを申し上げますとともに、今後一層のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

## 農業農村整備の集い — 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

令和元年6月5日(水)、砂防会館別館シェンバツハ・サポー(東京都)において、農業農村整備の集いが開催されました。この集いには全国土地改良関係者約1,200人が参加し、来賓として、農林水産大臣の吉川貴盛氏、農林水産副大臣の小里泰弘氏と高鳥修一氏をはじめとする、100名を超える国会議員のご臨席のもと、盛大に行われました。



開催にあたり、全土連会長の二階俊博氏から主催者挨拶とともに、土地改良関係者への更なる結束・団結を呼びかける言葉がありました。その後、農林水産大臣の吉川貴盛氏、他多数の来賓の方々より祝辞をいただきました。

引き続き、今年全国土地改良大会を開催する岐阜県土地改良事業団体連合会会長の藤原勉氏による要請案文の朗読、採択がされ、参加者一同によるガンバロウ三唱で閉会しました。

要請内容は以下の通りです。



二階俊博全土連会長 挨拶

### 要請書（抜粋）

水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題をも直視し、国が示した農政の展開方向を踏まえ、女性の能力も活用しつつ積極的な貢献を果していく覚悟である。

このため全国の水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、次の事項の実現を国に強く要請する。

- 一 農林水産業は国の基であり、土地改良はその根幹を成すものである。平成から令和に元号が変わる節目の年に当たって、今一度「闘う土地改良」の原点に立ち戻り、事業の計画的・安定的な推進のため、令和二年度当初予算の増額を図ること。
- 二 農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化の実現のため、現場の声に真摯に向き合いながら、農地集積・集約化を促す農地の大区画化・汎用化や、老朽化した農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化対策等をより一層推進すること。
- 三 大規模地震や豪雨等の大規模災害からの復旧・復興を早急かつ加速度的に進めること。
- 四 本年四月に施行された改正土地改良法の適切な運用を図るため、その普及啓発に努めるとともに、土地改良区や組合員の声に真摯に耳を傾け、複式簿記の導入など土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること。
- 五 今国会で成立した「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の適切な施行に当たり、広く国民に向けてその周知を図るとともに、現場の実態をよく踏まえた上で、必要となる財政的支援等を講じること。

全国土地改良事業団体連合会  
都道府県土地改良事業団体連合会

## 「土地改良は未来への礎」を活動の理念に

静岡県土地改良事業団体連合会会員ならびに関係機関の皆様には、日頃から土地改良の推進、農業農村の振興にご尽力頂いていることに心より敬意を表します。

また、私、宮崎雅夫の政治活動に対しましても、絶大なるご支援を賜り感謝申し上げます。

お陰様をもちまして、令和最初の参議院議員選挙におきまして、当選の栄に浴することができました。

私、宮崎雅夫は、この皆様のご支援による結果を胸に刻み、先輩の進藤金日子議員と力を合わせて皆様のご期待に応えるよう頑張っております。



私は、土地改良とは、先人が創り上げた農地やかんがい排水施設を時代の要請に応じて整備し、次の世代に引き継いでいく仕組みだと考えています。

そこには、国民に食料を安定供給するとともに、かけがえのない美しい日本のふるさとを守り、後世にしっかりと引き継いでいくという国民的課題に伝えていくことが求められており、現下の農業農村の発展に加えて日本の未来への投資という両方の役割を担っているといえます。このことを一言で表したのが私のモットーとするところの「土地改良は未来への礎」です。

私は、この「土地改良は未来への礎」を政治活動の基本的な理念とし、「大切な農地と水を守る！」「農山漁村を災害から守る！」「美しい農山漁村を守る！」という3つの目標の実現に向けて、土地改良の安定的な予算の確保、農地や水を守り育てる体制の強化など、7つのチャレンジに全力で取り組んでまいります。この折には、現場と国政の間を素早く往復しながら両者をつなぐパイプ役として、現場の声を国政に反映できるよう汗を流し続けていく所存です。

今後とも皆様のご理解とご支援、そしてご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、静岡県土地改良事業団体連合会の皆様お一人おひとりのご健勝とご多幸、ならびに地域の発展をお祈り申し上げ皆様へのご挨拶とさせていただきます。

令和元年 8 月 吉日

参議院議員 宮崎雅夫

## 郷土史サロン・磐南文化講座「寺谷用水 430 年の功績」

平成 31 年 4 月 13 日(土)、磐田市南交流センター(磐田市)において、郷土史サロン・磐南文化講座「寺谷用水 430 年の功績」が開催されました。

本講座は、天正 16 年(1588 年)に現磐田市加茂の武士・平野重定公が、磐田市寺谷で天竜川の水を引いてから現在に至るまでの 430 年の歴史を振り返り、用水事業の歴史・功績と現状を再確認することを目的として企画されたものです。

講師として、磐田市歴史文書館の中山正典氏と寺谷用水土地改良区事務長の青木俊篤氏が登壇し、磐南地域に多大な利益を産む功績を残した用水事業の道のりや、民俗学の観点から見た農業用水について講演されました。



郷土史サロンの様子

## 平成 31 年度 新人、若手職員研修会

平成 31 年 4 月 23 日(火)、静岡県産業経済会館(静岡市)において、平成 31 年度 新人、若手職員研修会を開催しました。この研修会は新人職員を対象として開催され、県内の土地改良区職員等 8 名が参加しました。

講師にアール人材開発合資会社代表の旗持玲子氏を招き、社会人の心構えやコミュニケーションの大切さ、社会人生活を送るための基本的な考え方について講演していただきました。



研修会の様子

## 令和元年度 第 1 回 土地改良区事務責任者会議

令和元年 5 月 13 日(月)、静岡市産学交流センターペガサート(静岡市)において、令和元年度 第 1 回 土地改良区事務責任者会議を開催しました。

平成 31 年 4 月 1 日の改正土地改良法の施行を受け、県内土地改良区は定款・規約等の見直し作業や体制整備が必要となりました。

本会議は、会員である土地改良区に対しての適切な運営と円滑な業務推進の支援と、本会との連携強化を図るために企画されたものです。

第 1 回目今回は「土地改良法改正に係る事項」、「複式簿記方式による決算資料の作成に係る事項」、「情報提供他」の 3 項を議題に会議が行われました。



事務責任者会議の様子

## 令和元年度 第1回 監事会

令和元年 6月19日(水)、本会会議室において、令和元年度 第1回 監事会を開催しました。

今回は(1)「令和元年度監査計画について」、(2)「平成30年度決算監査について」、(3)「平成30年度決算監査の報告について」、(4)「本会と理事との契約に関する事項について」の全4議案について報告し、円滑かつ適正な運営を行うための確認・検討がなされました。



監事会の様子

## 令和元年度 第1回 理事会

令和元年 7月26日(金)、静岡市産学交流センターペガサート(静岡市)において、令和元年度 第1回 理事会を開催しました。

伊東会長をはじめ、池田副会長、大石副会長、理事6名、総括監事1名、監事1名、参与6名の出席をいただきました。

会に先立ち、伊東会長から「幸いにして、皆様の度重なる要請活動や、県御当局の皆様の熱意により、本会の経営状況は回復してきました。

人的な不足というものがどの業界でも叫ばれ、本会においても本県の農業農村整備事業の現場においても、必要な人材を確保する事にご苦労されていると思います。その点についても今後を見据えた上で、この平成30年の締め括りをしていただければと思っております。」と挨拶がありました。

引き続き伊東会長を議長とし、「平成30年度事業報告及び収支決算並びに財務諸表、財産目録について」をはじめ、「平成30年度資金運用の経過及び結果報告について」など全9議案が提出され、全て原案通り可決されました。



理事会の様子

### 議案

第1号	平成30年度事業報告及び収支決算並びに財務諸表、財産目録について
第2号	平成30年度資金運用の経過及び結果報告について
第3号	定款の一部改正について
第4号	職員就業規則の一部改正について
第5号	育児・介護休業等に関する規程の設置について
第6号	静岡県管理運営体制強化委員会設置規程の一部改正について
第7号	令和元年度顧問、参与の委嘱について
第8号	令和元年度臨時総会招集について
第9号	令和元年度臨時総会提出議案について

## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2019 作品募集

日本の農業農村は、生きるために必要な食料を生産する場所であるとともに、国土の保全、豊かな自然環境、安らぎのある農村景観の形成などの多目的機能を持った、国民の生活に大変重要な役割を果たす、かけがえのない財産です。

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展は、この私たちの財産を守り次世代へと引き継いでゆくため、子どもたちに田んぼや農村に関心をもってもらい、棚田や田んぼ、水路やため池による水の循環や環境保全への理解を促し、大人たちへのメッセージとして子どもたちのまなざしを届けることを目的として開催します。

皆様のご理解とご協力をいただき、たくさんのご応募をお待ちしております。

### テーマ 新発見！ぼくのわたしのふるさと

- 応募資格：小学生以下  
(クラスや学校単位での共同作品も可)
- 応募締切：9月11日(水) 必着
- 応募・問い合わせ先：  
静岡県土地改良事業団体連合会  
総務企画課内 子ども絵画展係

〒420-8601  
静岡市葵区追手町9番6号 静岡県庁西館9階  
TEL：054-255-5151 FAX：054-221-3581  
E-mail：kikaku@sizdoren.jp



※ 応募規定や応募方法などの詳細については、本会のホームページ、または全国水土里ネットのホームページをご覧ください。

## 第5回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト 作品募集

農村の魅力伝える写真を通じて、農業・農村の果たす役割や大切さを県民に伝えることを目的とした、「第5回静岡県農村の魅力フォトコンテスト」を開催します。

県内の美しい農村景観や日々の暮らしの風景など、農村の魅力伝える写真を募集します。

皆様からの、たくさんのご応募をお待ちしております。

### テーマ 新しい時代へ引き継ぎたい 農山村の魅力

- 募集部門：一般部門  
SNS部門 (facebook、instagram)
- 応募期間：令和2年1月8日(水)まで  
(一般部門については、当日消印有効)



※ 応募規定や応募方法などの詳細については、「静岡県農地保全課」と検索をして静岡県のホームページをご覧ください。

静岡県歴史的  
土地改良施設じなようすい  
地名用水

所在地：榛原郡川根本町地名

地名用水は、榛原郡川根本町地名地区に広がる農業用水路です。取水部から下流で道路を横断し、そこから北と南の2方向に分水して遠方の農地まで水を行渡らせています。

## 大井川と共にある町

川根本町は静岡県の中央部にある町です。一級河川・大井川に沿って東西約23km、南北約40kmの南北に細長い形をした土地は、面積の496.72 km<sup>2</sup>のうち約90%を森林が占めています。

地名用水は、大井川が大きく曲流する「鵜山の七曲り」の最上流部にあたる地名地区にある水路です。

## 山間の町の耕地事情

山々の森林に囲まれた川根町域は耕地となる土地が少なく、特に水田はほんの僅かしかありませんでした。

耕地は茶畑として利用されることがほとんどで、自給用の麦や稗やソバ、粟、キビ、トウモロコシ、大豆等の雑穀が茶樹とともに栽培されていることも多かったのですが、雑穀を含めても村の食料に不足が生じていました。

更に明治になると米穀の需要が増加し、金谷や島田方面から大井川の舟運を使って大量に輸入していました。

## とある若者の決起

明治初期、大井川が近くにありながらも平地の水田を潤すことが難しく、うっそうと草木が茂る土地を開墾しようと、行動を起こした人々がいました。地名村(現川根本町地名)の三倉仲四郎と名主役(現在の区長)の椎野作之八です。

彼らは地形の起伏や、村の東北の裏河原と西南の三郷河原の水面を比較して高低を観察し、北側の山腹にトンネルを掘って大井川から取水した水を掘割によって導水することで、西地名地先の荒地を開墾することを思いつきました。

この水田造成計画を下泉村(現川根本町下泉)の勝山吉太郎らに持ちかけて賛同を得ると、村人達や他の村へも投資を募って事業へこぎつけました。

明治10年(1877年)8月に着工された工事は、ほとんどを村中で製造した器具を使い、手掘りで進められました。当時の測量技術では勾配をつけることにも難儀しましたが、同年12月には4本の水路の掘割が完成し、更に明治11年(1878年)3月にトンネルの工事も竣工しました。

4本の水路を通った水は村中を巡り、痩せた荒地を水田へ変えました。明治12年(1879年)には750俵、翌年には900俵の収穫があったそうです。

## 地名用水の今

地名用水は現在も絶え間なく豊富な水を運び、20haの水田を潤し続けています。

開削に携わった人々の偉業は、地名大井神社境内に建つ顕彰碑に加え、地元の小学生を対象に30年以上前から続く歴史学習会によって、今も脈々と語り継がれています。



【協力】川根本町役場 建設課

【参考資料】『中川根町史 近現代通史編』、『中川根町史 近現代資料編 上巻』、『図説 中川根の歴史』、『むらのおと vol.9 2016 春』、『むらのおと vol.21 2019 春』  
『川根本町公式ホームページ』

<http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp/index.html>





ふじのくに  
美しく品格のある邑  
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

## 森町南部 — 周智郡森町 —

平成 27 年度 知事顕彰 受賞



ココ!

全国的にも珍しい「水田3倍活用農法」に取り組んでいる森町南部。

1年の中で水稲+レタス+スイートコーンの

三作サイクルを確立し、四季を通じて活気ある農村風景が広がっています。

競争力の高い農業経営の拡大は、後継者の新規就農者確保にも繋がり、JA 青年部の活動も活発です。農業を身近に感じてもらうため、地域の親子を対象に農業体験や試食会を開催する等、精力的に活動しています。



### 〈 邑の農産物情報 〉

- 6～7月：トウモロコシ(甘甘娘、甘太郎)
- 11月：次郎柿
- 12～2月：レタス

## 韮山金谷 — 伊豆の国市 —

平成 27 年度 連合奨励賞 受賞



ココ!

世界文化遺産・韮山反射炉にほど近く、重要文化財の韮山江川邸等の歴史的な地域資源が豊富な韮山金谷地区。自分達

が子どもの頃に遊んだ里山を復活させたいと「韮山金谷の里夢くらぶ」を立ち上げ、横浜に拠点を持つ NPO「日本の竹ファンクラブ」と協働による竹林整備を行っており、「一社一村しずおか運動」にも認定されました。

夢くらぶでは、正月に門松を制作していますが、里山整備の一環で、くぬぎを門松の土台に利用したり、シイタケ栽培のほだ木に活用する取り組みも行っています。



### 〈 邑の重要文化財情報 〉

- 江川邸 (URL: <http://www.egawatei.com/>)  
(開館時間) 9:00~16:30(受付は 16:15 まで)  
※ 水曜日は 9:30~15:00(受付は 14:45 まで)  
(休館日) 年末年始、第3水曜日 ※ 祝日は開館

## 行事予定 (8~10月)

開催日	行事予定	開催場所
8月19日(月)	令和元年度 臨時総会	男女共同参画センターあざれあ
9月25日(水)	令和元年度	浜松会場：クリエート浜松
9月26日(木)	複式簿記導入促進特別研修	静岡会場：男女共同参画センターあざれあ
10月16日(水) ～18日(金)	全国土地改良大会岐阜大会	大会式典：岐阜メモリアルセンター で愛ドーム 事業視察：岐阜県内

令和元年10月16日(水)、第42回 全国土地改良大会(岐阜大会)が、岐阜県岐阜市長良福光大野の「岐阜メモリアルセンター で愛ドーム」をメイン会場に開催されます。

この大会は、新たな農業・農村の展開方向に即して、農業農村整備の重要性と、それを下支えする「水土里ネット」の役割を再認識し、土地改良関係者の意識の高揚と、本国の農業・農村の更なる発展を目的として開催されます。

### 大会テーマ

清流で未来をうるおす土地改良  
～水土里の恵みを新たな世代へ～



- 主催：全国土地改良事業団体連合会、岐阜県土地改良事業団体連合会



**水土里ネット静岡**

(静岡県土地改良事業団体連合会)

【URL】<http://www.sizdoren.jp>

**本部(事務局、総務企画課、施設管理課、事業課)**

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL (054)255-5151 FAX (054)221-3581

E-mail 総務企画課 総務担当 soumu@sizdoren.jp

企画担当 kikaku@sizdoren.jp

施設管理課 水土里担当 kanri-c@sizdoren.jp

事業課 事業担当 jigyo@sizdoren.jp

換地担当 kanchi@sizdoren.jp

**東部事業所**

〒410-0055 沼津市高島本町1-3

TEL (055)920-2269 FAX (055)920-2192 E-mail toubu@sizdoren.jp

**中部事業所**

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20

TEL (054)286-9273 FAX (054)286-9274 E-mail shisetsu@sizdoren.jp

**西部事業所**

〒438-0086 磐田市見付3599-4

TEL (0538)37-2316 FAX (0538)37-2403 E-mail seibu@sizdoren.jp

発行所：〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県土地改良事業団体連合会